

令和元年度 中野地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年5月13日(月)

No	懇談事項	説明	担当部課名
1	<p>三和水路の現状について</p> <p>片岡橋から都南大橋に向かって流れる三和水路があります。かつては見石町内，東安庭町内，門町内には水田や東北農業試験場が広がり，農業用水路として三町内で維持管理してきたことから三和水路の名が付けられていました。</p> <p>平成の初期までに土地区画整理事業が進み，現在では農地がほとんど無くなり三和水路も用水路としての役割を終え，維持管理を盛岡市へ数年前に返還したところであります。三和水路は現在は排水路として山腹の降雨を受け止め，住宅地には流れ込まないようにする機能が期待される場所ですが，2007年9月17日の早朝に氾濫し門町内で床上浸水被害が2戸ありました。その後も翌年の3月，最近では2016年8月と床上床下浸水被害があり，そのほかにも越水・溢水による水防出動は幾度もあります。区画整理事業の際に排水系統について検討され，門地内に放流のため排水樋管を設置したと推定しています。しかしながら，現在の三和水路が排水路としての機能を有していないように思われますが，現状の排水能力や機能について説明願いたい。</p> <p>片岡町内地内の水路は法面に草が茂り水路が見えない状態である。</p> <p>度々，整備はお願いしているが充分とは言えず，対応について説明願いたい。</p> <p>(門町内会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三和水路の機能については，農業用水としての利用は少なくなっていますが，現在も利用がなされており，また，地形的に山側からの雨水を排水している水路ともなっております。</li> <li>・過年度の三和水路の溢水等による浸水被害を踏まえ，日常的な管理として通水に支障となる草や枯葉除去等の清掃を適宜行くとともに，大雨時の築川取水口の水門操作や，門地内等にある北上川へのバイパスゲート開放を適切に行い，越水・溢水対策に努めてまいります。</li> <li>・片岡と門にあるバイパスゲートについて，効果的に築川及び北上川へ排水できる改良の検討を行ってまいります。</li> <li>・市道東中野門線の道路整備においても，三和水路への雨水流入を軽減する施工を検討しております。</li> <li>・片岡地内における三和水路の法面については，草刈等を春と秋の年2回実施しているところであり，今年度も5月と9月に実施を予定しておりますが，多少時期が前後することもあります。</li> </ul>	<p>建設部 河川課</p>

令和元年度 中野地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年 5月 13日(月)

No	懇談事項	説明	担当部課名
2	<p>安全安心なまちづくりに向けた整備について</p> <p>(1) 盛岡中央消防署中野出張所消防庁舎・消防団第 13 分団屯所の整備について</p> <p>中野出張所消防庁舎と併設する消防団第 13 分団の屯所は、昭和 58 年 4 月に建設以来 36 年が経過し、時代の変化に応じて求められる施設設備の整備が急務となっている。</p> <p>ついては、施設の狭隘化を改善し、災害応急対策の拠点としての機能を充実するとともに、消防団活動をはじめ、女性消防団員の入団、地域住民の自主防災活動の効果的な推進に対応できる庁舎・消防屯所の早期整備が望まれるが、この建て替え等は、いつ頃予定しているものかお伺いしたい。</p> <p>(中野町内会)</p> <p>(2) 中野出張所の救急体制の整備について</p> <p>中央消防署が駅西に移転し、内丸地区を中心とした地域が空白となり周辺の消防出張をカバーしなければなりません。地域住民からは安全安心なまちづくりの観点から救急体制の整備が強く望まれている。新庁舎実現の際には、急病を中心に年々増加する救急出動要請に対応するため、内丸・河南・東部地区をカバーする救急体制の整備が必要ではないでしょうか。</p> <p>(中野町内会)</p>	<p>(1) 盛岡中央消防署中野出張所消防庁舎・消防団第 13 分団屯所の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎の維持管理・更新等については、盛岡地区広域消防組合公共施設等総合管理計画に位置付けて進めることとしております。</li> <li>中野出張所庁舎は、車両の大型化、通信設備の拡充等により狭隘な施設になっており、上記計画の中で建替えに向けて調整を進めることとしております。</li> </ul> <p>(2) 中野出張所の救急体制の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡中央消防署の移転後において、仙北出張所の救急隊の出動件数が増加しております。</li> <li>現状では、内丸・河南・東部地区の体制を強化することが必要になると分析しております。</li> <li>救急体制の整備については、岩手医科大学附属病院の移転に伴う市内全体の救急活動状況を見極めながら検討してまいります。</li> </ul>	<p>総務部 消防対策室</p> <p>総務部 消防対策室</p>

令和元年度 中野地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和元年5月13日(月)

No	懇談事項	説明	担当部課名
	<p>(3) 指定避難所の備蓄について</p> <p>中野小学校は、洪水、地震等の災害時の指定避難所として指定されているが、毛布、アルファ米等避難生活物資の備蓄がなされていない。地域防災計画には「指定避難所には、避難生活に必要な物資を確保する」とあるが、同校に空き教室等が生じ、収納場所に転用できる状況にならない限り、備蓄が行われないものかお伺いしたい。また、市内の指定避難所の備蓄計画があるとすれば、現在の備蓄充足率を併せてお伺いしたい。</p> <p>(中野町内会)</p>	<p>(3) 指定避難所の備蓄について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市では、盛岡市地域防災計画に基づき、災害発生時から食料、飲料水、生活必需品等の流通が確保されるまでの間、被災した市民等に対して必要な物資を供給するため、その確保体制の整備を図っています。</li> <li>・備蓄物資の保管場所については、各指定避難所や消防屯所等に備蓄していますが、保管スペースが十分でない避難所については、災害発生時に備蓄物資を移送することとしています。</li> <li>・現在のところ、中野小学校には備蓄物資を配備しておらず、近隣施設からの物資供給を想定していますが、今後も学校管理者と協議しながら、食料、毛布等生活必需品の備蓄について検討してまいります。</li> <li>・市では、直下型の大地震が発生した場合の避難者数を想定し、アルファ化米3万食を備蓄しているほか、事業者等との災害協定により3日分の食糧等、備蓄物資の確保を図っています。令和元年度は、新たに粉ミルク等の新規品目の備蓄を開始することとしており、備蓄物資の拡充に努めてまいります。</li> </ul>	<p>総務部 危機管理防災課</p>